

ガスと空気の熱でお湯をつくり、エネルギー効率と使い勝手の良さを両立 ノーリツ、「ハイブリッド給湯・暖房システム」の出荷式を開催！

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、当社グループ会社(株)アールビーの神立工場(茨城県土浦市)にて、新発売の「ハイブリッド給湯・暖房システム」の出荷式を9月24日(火)に行いました。

出荷式には当社代表取締役社長 國井総一郎をはじめ当社開発、営業部門と、生産を請け負う当社グループ会社(株)アールビーの関係者など、総勢約 70 名が出席しました。

「ハイブリッド給湯・暖房システム」は、当社では初めて、ガスと空気熱の両方を利用した給湯機器です。エネルギー効率の高さと、お湯の安定供給を両立させました。給湯一次エネルギー効率は業界最高レベルの 125%を実現。10月1日に施行される、住宅に係わる省エネルギー基準の改正による一次エネルギー消費量の削減ニーズにも対応します。

また、地球温暖化への影響が少ないノンフロン冷媒の採用やわずかなスペースでも設置が可能といった商品特長に加え、システム本体に安心のメーカー5年保証もついております。

出荷式にて当社代表取締役社長 國井総一郎は、「ハイブリッド給湯・暖房システムは、ヒートポンプ技術とガス給湯器のノウハウを組み合わせたノーリツらしい新製品である。経済的な価値はもちろん、地球環境保全に貢献できる社会的な価値を持っている。私たち一人ひとりの想いを一つにして、ハイブリッド給湯器という新しい市場を創造していきたい」と挨拶しました。



出荷式の様子(右が代表取締役社長:國井)



出荷式参加者

「ハイブリッド給湯・暖房システム」の商品詳細は、当社ホームページよりニュースリリースをご覧ください。

http://www.noritz.co.jp/library/news/2013files/20130717_1t7a.pdf